

News

第19回企業情報交換会inいちのせきを開催しました

令和8年2月26日(木)、皆様のご支援・ご協力のもと「第19回企業情報交換会inいちのせき」を開催いたしました。ご出展された企業・団体様、並びにご来場いただきました皆様に御礼申し上げます。展示の部、講演の部あわせてのべ240名以上の方にご来場いただき、盛況のうちに終わることができました。

展示の部では、一関ヒロセウドームを会場に、32社・9団体に出展頂きました。技術交流・情報交換、自社PRなど工夫を凝らした展示ブースが多く見られました。プレゼンテーションタイムでは、自社製品などのPRを7社より行っていただきました。



一関ヒロセウドームで行われた展示の部



理事長(一関市長)のあいさつ



講演の部で質問に答える講師
(左:堀様 右:我妻様)

講演の部ではベリーノホテル一関を会場に、ソフトバンク株式会社 地域CSR統括部 北海道・東北地域CSR部 部長 堀 英知様より「生成AI活用に向けて ― ソフトバンクの歩みと人材育成への貢献 ―」、株式会社GROWTH JAPAN TECHNOLOGIES 代表取締役 我妻 裕太様より「グロースジャパンテクノロジーが魅せる生成AI活用術～業務効率化から自律型AIエージェントによる組織変革まで～」と題して、AIに関する講演を頂きました。

参加者より頂いたアンケートでは、「AI導入の必要性が以前より明確になった」、「人材不足の現状、AIと人手の作業の共有、ヒトは最後の仕事を束ねる”AIの可能性は無限大”は共感した。人間が行うような、感情や柔軟性も実行できる気がする」などの意見が寄せられました。

今後も皆様のニーズに応える講演を企画して参りますので、次回以降も是非ご参加いただければと存じます。



4月は
第4水曜日が・・・
イブニングの日

4月22日の開催です。皆様お誘い合わせのうえ、ご参加頂きますようお願いいたします。

★第270回産学官イブニング研究交流会へのご案内

場所:ホテル松の薫一関

日時:令和8年4月22日(水)

名刺交換会 18:00~20:00 5,000円

Topics

一関市ものづくり人材育成事業
栄養成分分析装置習得講座を実施しました

2月25日(水)に栄養成分分析講座を実施しました。この講座では、持ち込みいただいた食品サンプルを用いて、実際に前処理や栄養成分装置の操作を行っていただき、データが得られるまでの一連の流れを実習しました。参加者からは「説明が分かりやすかった。地場製品の加工販売に役立たせたい」との声が聞かれました。

Thanks

台湾からの視察団が施設を見学

3月5日(木)、台湾からフォーチュン・キャピタル・マネジメント社の包化富会長が当センターの施設見学にいらっしゃいました。分析技術・機器の特徴や利用層、一関特有の分野等のご質問もいただき、国際的な技術交流としても大変実りある時間となりました。



研究室見学の様子

Topics

BCPセミナーを実施しました

1月22日(木)、2月19日(木)、3月5日(木)の3回にわたり、BCPセミナーを開催しました。このセミナーは中小企業基盤整備機構から講師をお招きし、アドバイスをいただきながら連携事業継続力強化計画(複数の事業者で策定する防災減災の対応・取組をまとめたもの)をワークショップ形式で作成する実践型セミナーで、のべ20名が参加しました。

参加者からは、「事業を継続して行くためには何らかのトラブル時に決めごとや標準をしっかりとルール化されていることの重要性を勉強できた」、「BCP策定を検討している中で、専門的な意見、アドバイスなどをいただくことができ、とても貴重な機会となりました」との声をいただきました。



BCPセミナーの様子

Column

化学(ケミストリー)の視点

※今回の担当は、当センター所長の佐藤(腐食防食専門士

★連載版No.32

(公社)腐食防食学会認定)です。

～アルミが溶ける～

日の丸弁当(ご飯に梅干し)でアルミが溶ける。聞いたことがあると思いますね。本来、アルミニウムは活性な金属ですが、空気中では非常に薄い安定した酸化皮膜を生成し、通常の大気環境では耐食性に優れています。しかし両性金属であり、強めの酸性やアルカリ性の環境では腐食することがあります。長い間使用したアルミ製の弁当箱が溶ける(腐食する)のはこの梅干しの酸ということですね。アルミホイルに梅干しは注意ですね。

一方で、人工的に酸化皮膜を生成させ、耐食性、耐摩耗性を向上させることが行われています。アルミニウムを陽極として電気分解し、表面を電気化学的に酸化させる、陽極酸化処理(アルマイト処理)です。このアルマイト処理は日本の理化学研究所で開発された技術です。よく目にするアルミのヤカンが黄金色をしているのは蓚酸で処理したものです。硫酸処理では無色半透明です。この様に蓚酸や硫酸などで処理した表面には酸化アルミニウム

(Al_2O_3)の皮膜が生成します。この皮膜は数 μm から数十 μm のハチの巣状の孔を持った層(多孔質層)を形成しています。図1にアルマイト処理した酸化皮膜の模式図を示します。この孔に染料などを入れて封孔することによりカラフルな色の表面を得ることもできます。図2は青と黒のアルミ製カードケースです。また封孔せずに電着塗装したアルミサッシ、フッ素樹脂コーティングを施したフライパンなどがあります。

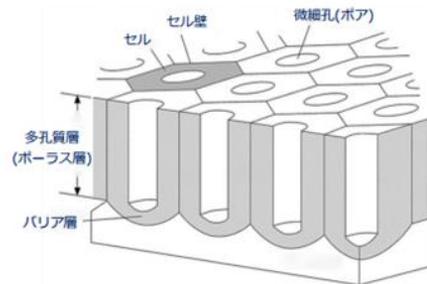


図1 アルマイト処理した酸化皮膜の模式図(東栄電化工業(株)様HPより)



図2 アルミ製カードケース(東栄電化工業(株)様提供)

